

第2号

発行元：藤野地区学校配置検討委員会事務局
(札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課学校配置マネジメント担当)

藤野地区学校配置検討委員会ニュース

発行
2023年7月18日

藤野地区では、藤の沢小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年3月より「学校配置検討委員会」を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年6月5日に第2回学校配置検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

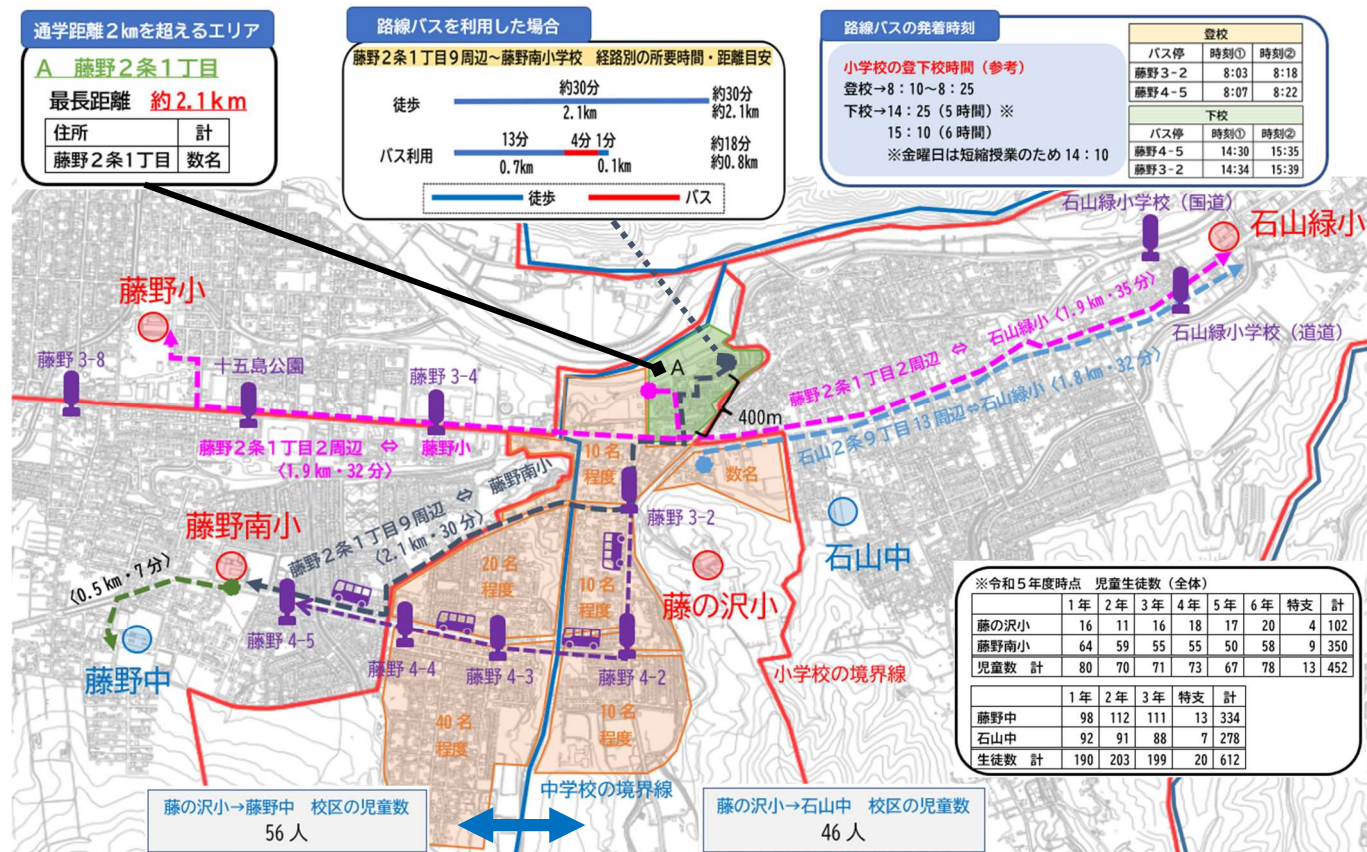
検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のホームページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/fujino.html>



※第2回配布資料：地域から寄せられた意見（1件）など

協議事項1 藤の沢小学校校区から藤野南小学校への通学について



上の図につきましては、本市HP上にも掲載しております。

【協議内容】

- 既存の路線バスの利用を前提とした場合の通学方法について

藤野3条2丁目（藤の沢小学校入り口）で乗車 → 藤野4条5丁目で降車

※藤野南小までの通学距離が2kmを超える藤の沢小校区の児童は数名（令和5年5月時点）。

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答等

- スクールバスの運行はできないか。

⇒【教育委員会】

- ・まずは既存の路線バスを活用できないか検討していただくことになる。検討の結果、路線バスの活用が著しく困難という判断となった場合、次のステップとして検討することは可能である。路線バスの活用に関して、具体的に心配な点があれば挙げていただきたい。

藤野南小学校以外への通学に関して

- 藤の沢小校区の一部の児童が、藤野小や石山緑小に通学する案はどうなったのか。

⇒【教育委員会】

- ・藤野南小学校へ通う想定資料となっているが、一部児童について藤野小や石山緑小へ通学する方が良いということであれば、それも併せて検討いただく考え。

- 藤野2条1丁目に住んでいる児童は、中学校は石山中校区であることを考慮すると、小学校は石山緑小に通い、そのまま同じメンバーで石山中に進学するほうが良いと考える。

バス停周辺の交通安全に関して

- 藤野3条2丁目バス停周辺の交差点で、国道230号を横断させるのは、保護者として不安に思うのではないかと。朝の通勤時間帯は、藤野1号通から国道230号を石山方面に右折する車のスピードがかなり速い。信号を無視しかねない車も見受けられ危険に感じる。
- 既にその交差点は藤の沢小の通学路となっている。これまでもスクールゾーン実行委員会で話題にあがっている箇所であり、対策として、簾舞方面側の横断歩道で国道230号を渡り、そのまま藤野1号通を南側へ歩き、藤の沢小学校前の坂下の横断歩道を渡るルートを通学路としている。
- バスの便数やバス停位置などを考慮すると、国道230号沿いの十五島公園のバス停で降り、そこから坂を登って通学するルートも考えられるかもしれない。
- バス停を降りてからの距離などを考えると、現案のバス路線を活用した方がよいのではないかと。藤野通は町内会の見守り活動が一生懸命で、安心である。

通学距離の基準、低学年への対応等に関して

- 通学距離2kmを超える児童には通学定期の助成を考えるとということだが、道路1本で助成の対象となる児童とならない児童で分かれてしまうのはやるせない。2kmで明確に区別せずに、少し余裕を持って設定できれば良い。
- 1年生に2km近い距離を歩かせるのは厳しいと感じた。2kmを超えない児童も、路線バスに乗せてあげてほしいと感じる。

- 低学年の児童はちゃんとバスに乗れるのか、市内のバス通学の事例について参考の情報として知りたい。

⇒【検討委員】

- ・統合により一部児童がバス通学となった過去の事例では、児童が慣れるまで、教職員が付き添うなどでフォローしていた。新学期から約2か月後には、大半の児童たちがバス通学に慣れる。

- 低学年の児童を通わせる点で心配の声が大きいので、全市的なことなので簡単にはいかないと思うが、低学年だけでも通学定期助成の要件が緩和されることを期待したい。

⇒【教育委員会】

- ・交通費助成の要件については、他の地域との兼ね合いもあるため、事務局で持ち帰り検討させていただく。

【協議結果】

○通学安全等の観点も含めて路線バスの活用について継続して協議を行う。

協議事項2 藤の沢小学校区から中学校への通学について

【協議内容】

- ・小学校が統合した場合に、中学校の通学区域はどうすべきか。

意見・質疑応答の概要

- 藤の沢小の児童は、藤野中・石山中のどちらかを選択できるようにすることは可能か。

⇒【教育委員会】

- ・藤野中と石山中のいずれかを選択できる指定変更区域を設定することは可能である。その場合、対象範囲も検討いただきたい。

- 児童全員が藤野南小に通うことになった場合、一部の児童だけが石山中に進学するというのは、子どもたちにとって辛いかもしれない。

- 全ての児童が藤野中に行った場合、石山中の生徒数は減るのか。

⇒【教育委員会】

- ・全ての児童が藤野中に進学する場合でも、推計上、石山中が著しく小規模化するほどの影響はないと考えている。

- 通学距離の面などから現在の中学校の通学区域を基本として考えるのが良いと思う。

- 通学距離や児童の心情に配慮し、進学する学校を選択できる余地が残ると良い。

【協議結果】

○中学校の通学区域については、基本的には現状どおりとする。

○指定変更区域をどの範囲とするかについては、協議を継続する。

今回の検討委員会について

- ▶ 会議名 第3回 藤野地区学校配置検討委員会
- ▶ 開催日時 2023年(令和5年)9月11日月曜日 18時00分～19時30分
- ▶ 開催場所 藤野地区センター(南区藤野2条7丁目2-1)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせいたします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第3回)検討委員会の議題(予定)

- ▶ 第2回検討委員会の振り返り
- ▶ 地域や保護者の皆様から寄せられたご意見等の紹介
- ▶ 藤の沢小学校校区から藤野南小学校への通学方法及び通学安全
- ▶ 中学校の指定変更区域の設定内容
- ▶ その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

藤野地区学校配置検討委員会事務局

- ▶ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶ 電話: 011-211-3836 FAX: 011-211-3837
- ▶ e-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-S01-23-1246
R5-2-869

SAPPORO